


神戸市地域公共交通計画 進捗状況報告

第11回神戸市地域公共交通活性化協議会



施策 1 都心での「人と公共交通中心の賑わいある
まちづくり」の推進と広域結節機能の向上

都心・三宮の再整備 主要事業スケジュール

【2024年2月時点】

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度～	
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度～	
三宮駅周辺	新たなバスターミナル	事業化手続き	権利調整			工事				I期工事完了		
	三宮クロススクエア					設計・工事 (順次)					第1段階 供用開始	
	JR三ノ宮新駅ビル			事業着手			工事				開業 (目標)	
	三宮駅周辺歩行者デッキ	バスターミナル周辺デッキ		コンペ	設計・協議			工事				
		JR新駅ビル周辺デッキ			設計・協議				工事			
さんちかの再整備		設計		工事								
フロント	新港突堤西地区 (第1突堤基部)	事業化手続き 設計・工事		順次操業開始	工事			全面供用開始				
	新港突堤西地区 (第2突堤)	再開発事業者 選定	計画	設計	工事			供用開始				
エリア間の回遊性向上	磯上公園の再整備	磯上公園		設計	工事							
		北側道路			設計	工事						
	本庁舎2号館再整備	基本計画策定		事業者 選定・契約				設計・工事				
東遊園地	北側	設計	工事	供用開始		水路工事						

※パースはイメージであり、今後の設計及び関係機関との協議により変更となる場合があります



神戸三宮阪倉ビル
サンキタ広場・サンキタ通り

市役所本庁舎2号館
※令和6年1月時点

中央区役所・中央区文化センター

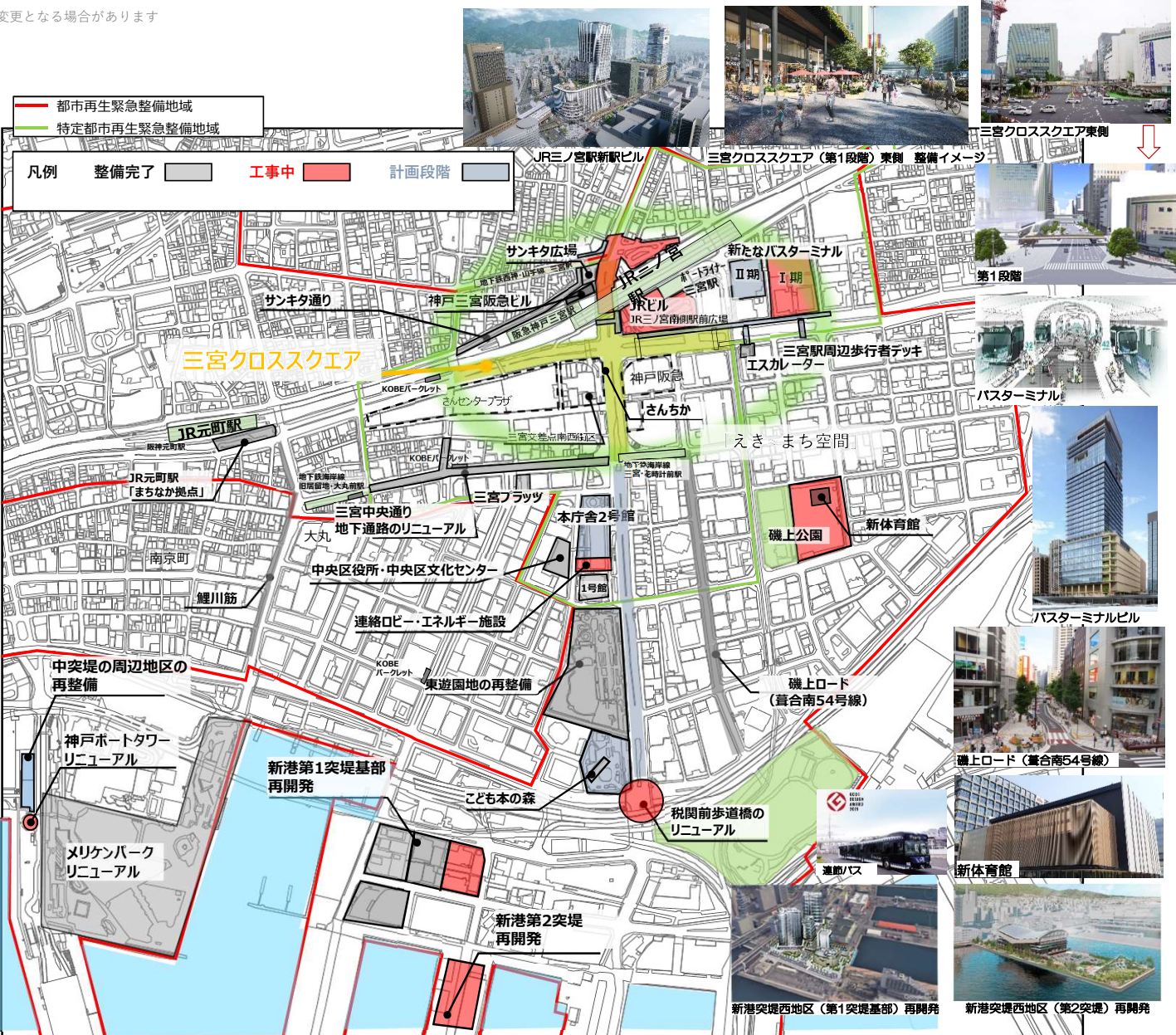
東遊園地の再整備

税関線の再整備

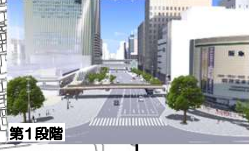
税関前歩道橋
リニューアル

都市再生緊急整備地域
特定都市再生緊急整備地域

凡例 整備完了 工事中 計画段階



三宮クロススクエア東側 整備イメージ



第1段階



バスターミナル



バスターミナルビル



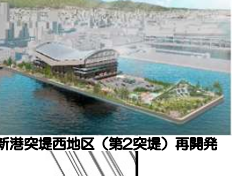
磯上ロード(複合南54号線)



新体育館



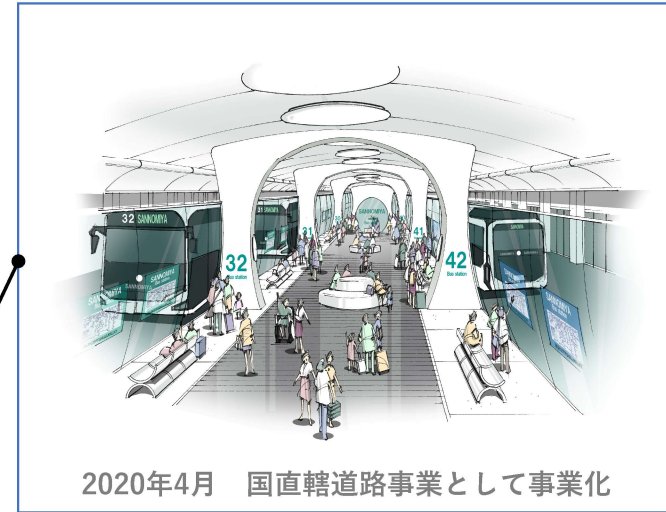
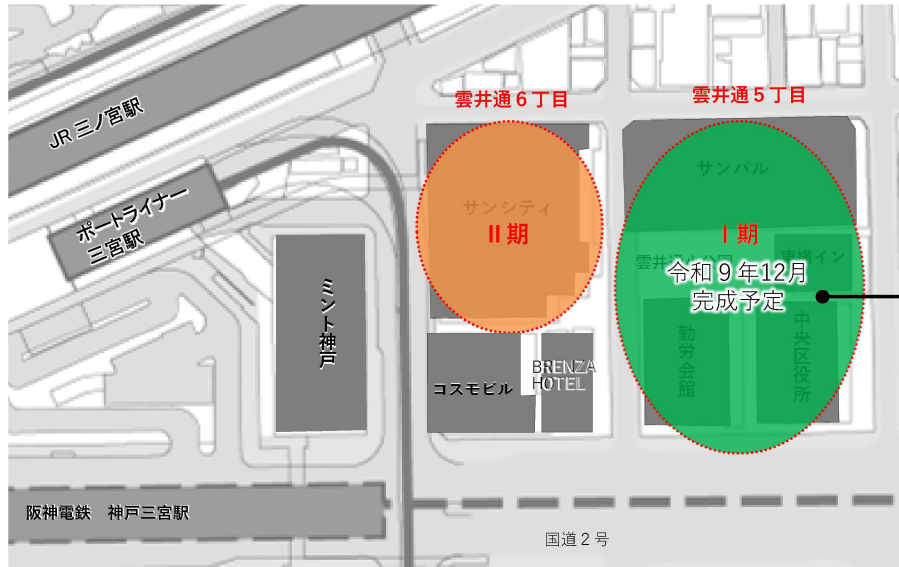
新港突堤西地区(第1突堤基部)再開発



新港突堤西地区(第2突堤)再開発

新たなバスターミナルが入る再開発ビルの整備

<再整備ブロック分けイメージ>



<雲井通5・6丁目再開発事業想定概略スケジュール>

	R4年度 (2022年度)	R5～R8年度 (2023～2026年度)	R9年度 (2027年度)
雲井通5(Ⅰ期)		R5.7 新築工事着手 解体工事・新築工事	R9.12 完成予定
雲井通6(Ⅱ期)		計画検討／都市計画・事業認可手続き等 R5.7 準備組合設立	工事着手

※あくまで現時点の想定であり、スケジュールは変更になる可能性があります。



屋外歩廊空間イメージ（Ⅰ期南西より）

※これらのパースはイメージです

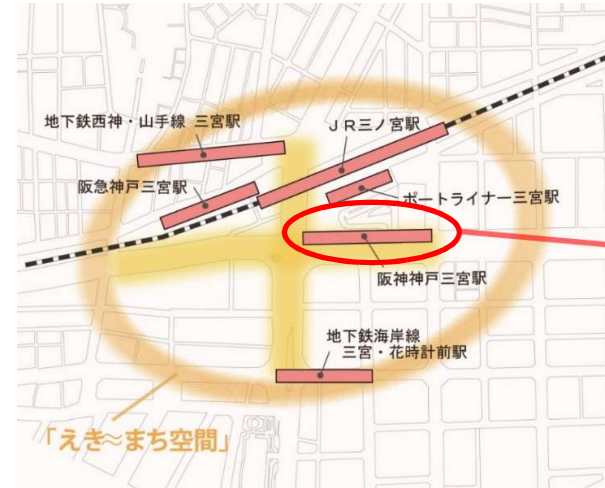
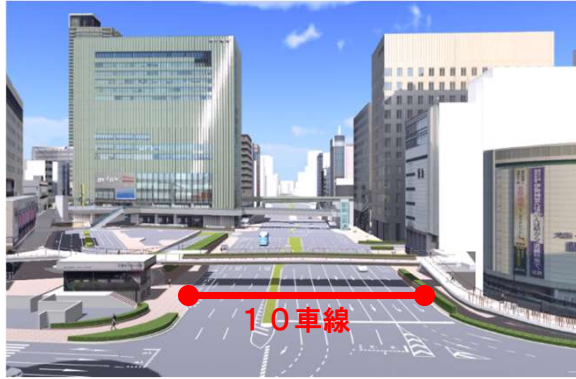
乗り換え動線の強化

歩行者デッキは2027年度以降 順次完成予定



三宮クロススクエアの概要

現況



※東側から整備

第1段階

2029年度目標
(JR新駅ビル開業と同時期)



第2段階

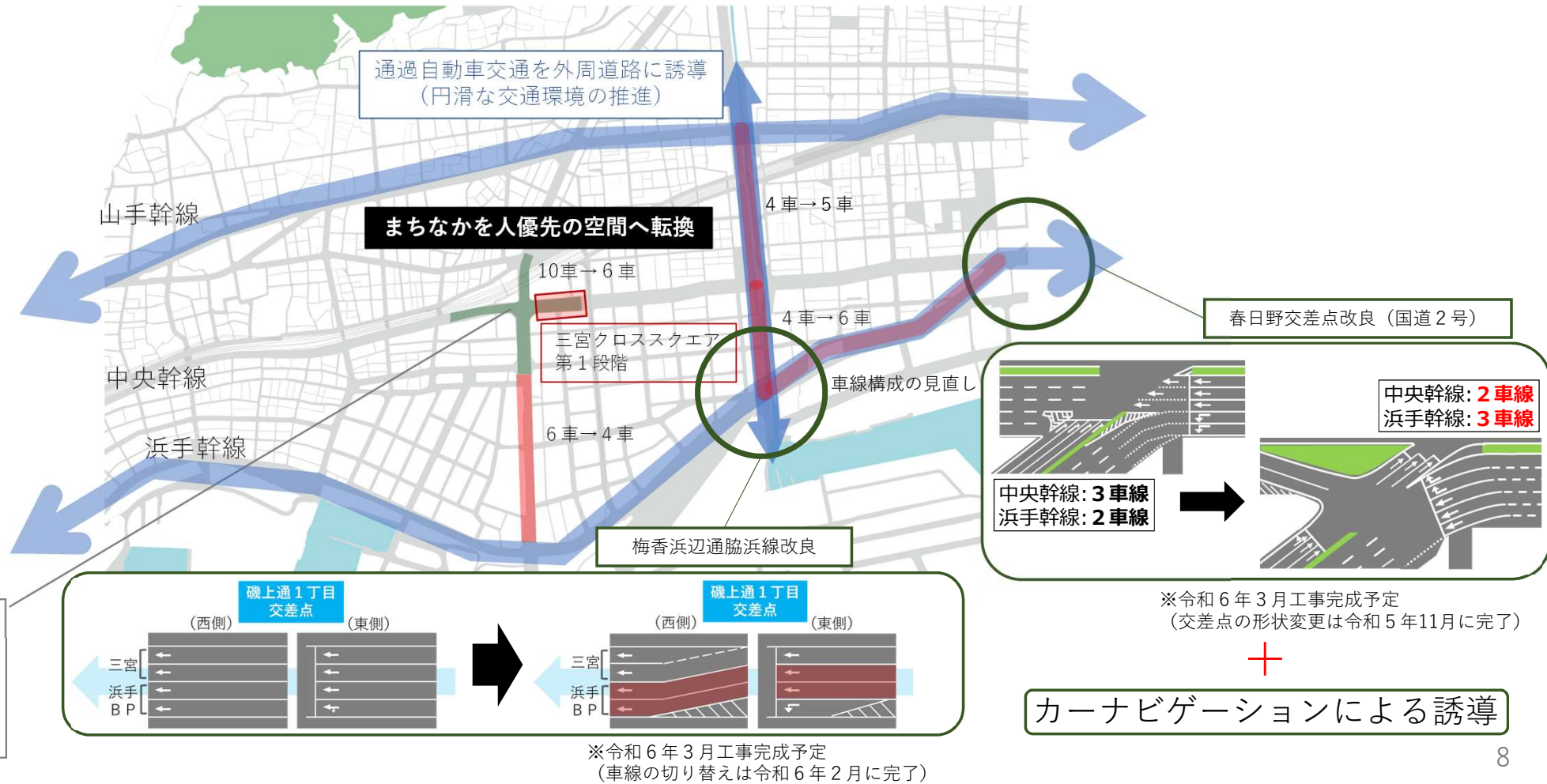
(大阪湾岸道路西伸部供用後)



※VRによるイメージ

三宮クロススクエア（第1段階に向けた自動車交通マネジメント）

都心部の東西交通を余裕のある外周道路に誘導し、人優先のまちづくりを推進



中央幹線の車線切り替え

JR三ノ宮新駅ビル及び歩行者デッキ工事に伴い、中央幹線の車線切り替えを実施

工事状況 (2024年2月時点)



都心三宮における自動走行モビリティの導入へ向けた実証実験

三宮周辺をウォーカブルなまちとして再整備していく中で、まちの回遊性の向上や滞在機能を強化させるため、歩行者と共存する新たなモビリティの導入へ向けた検討

令和4年度実証実験

■実施場所

神戸市中央区（三宮中央通り地下通路）

■実施時期

令和5年1月27日(金)～1月29日(日)

■実施内容と結果

①歩行者の多くない公道における走行実証

→自動走行モビリティ「iino(イイノ)」に約280名にご乗車いただいた。

→周辺の歩行者を検知し安全に減速停止をし、事故等のトラブルはなかった。

②将来の歩行者交通状況を想定した走行実証

→駅周辺デッキを想定した歩行者交通の状況を再現し、走行性を確認した。



令和4年度実証実験様子



令和6年度実証実験

■実施場所

神戸市中央区（三宮センター街）

■実施時期

令和6年5月頃を予定

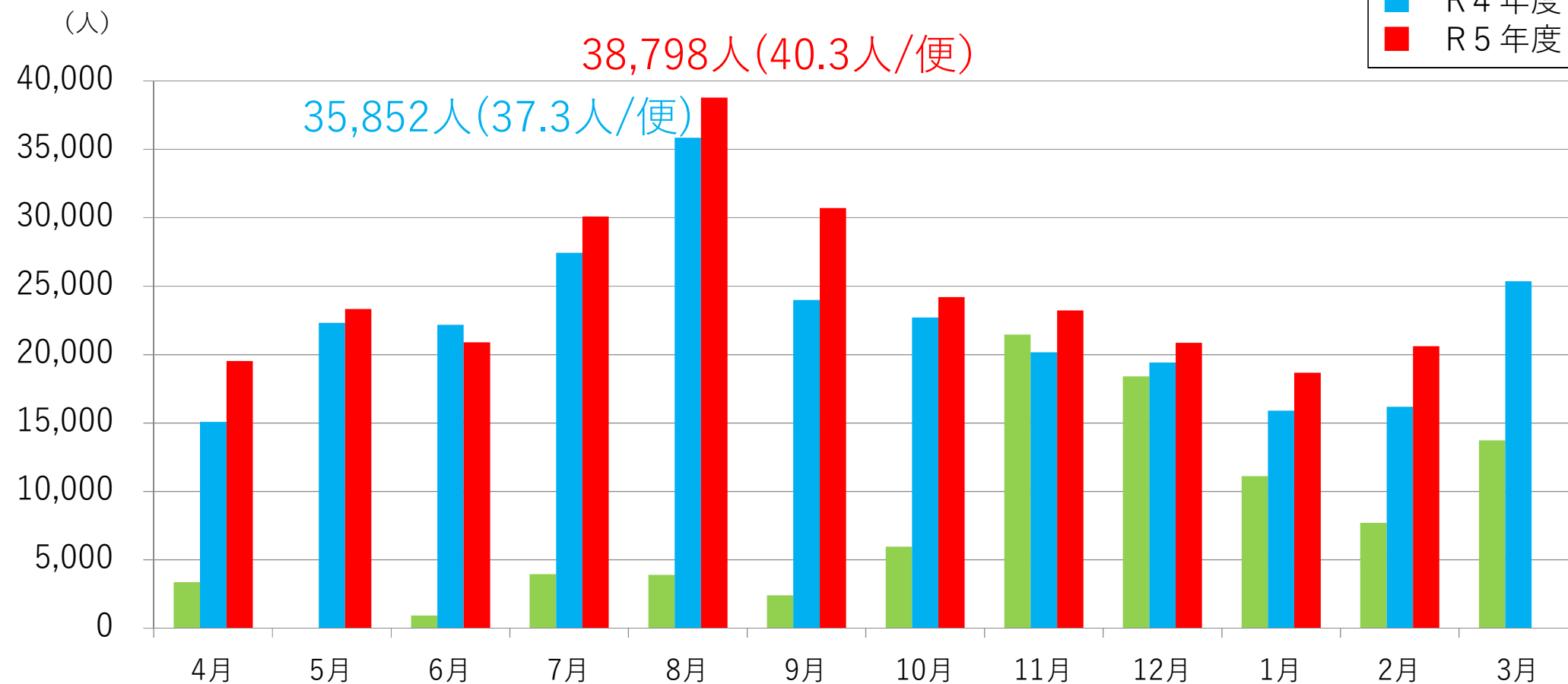
■実施内容

歩行者の多い公道においてモビリティと周辺歩行者との共存性検証

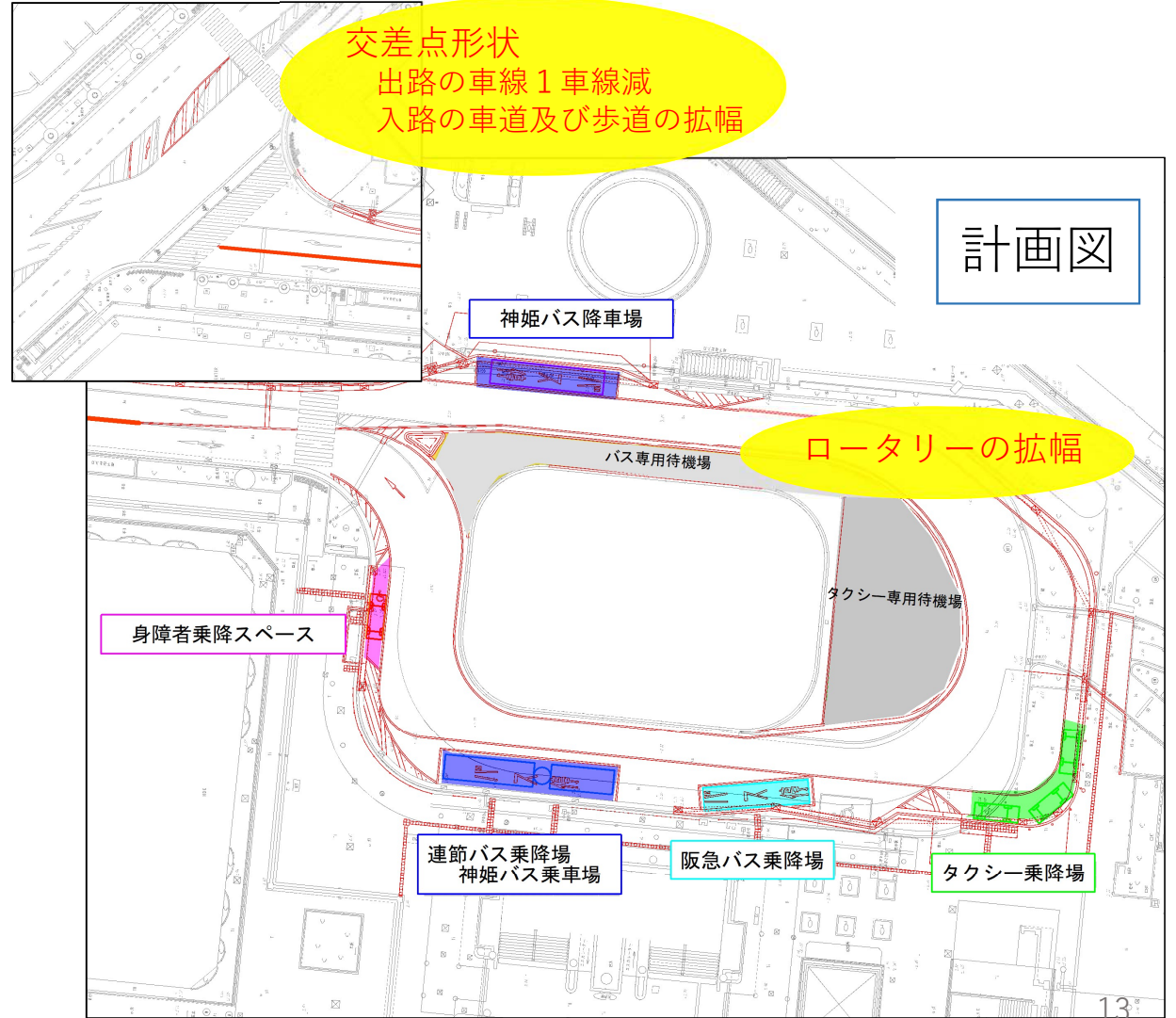
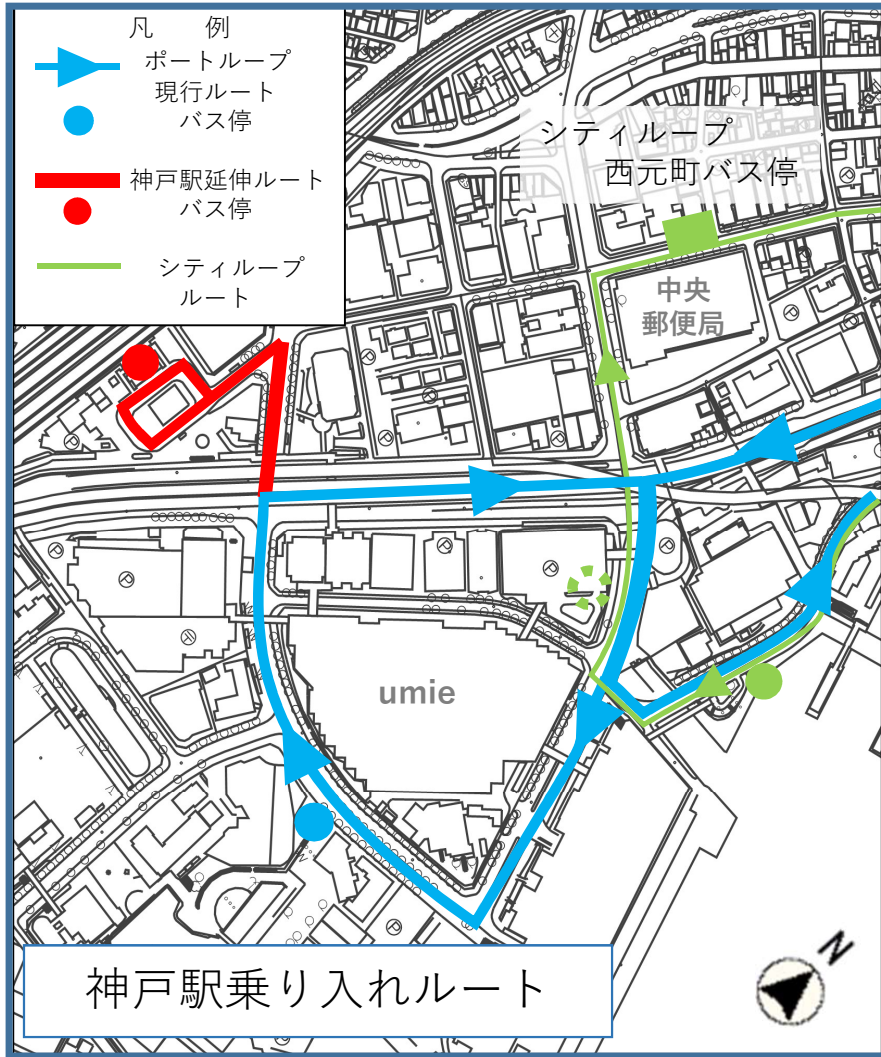


連節バスPort Loopの利用状況

< 年間の利用者数の推移 >



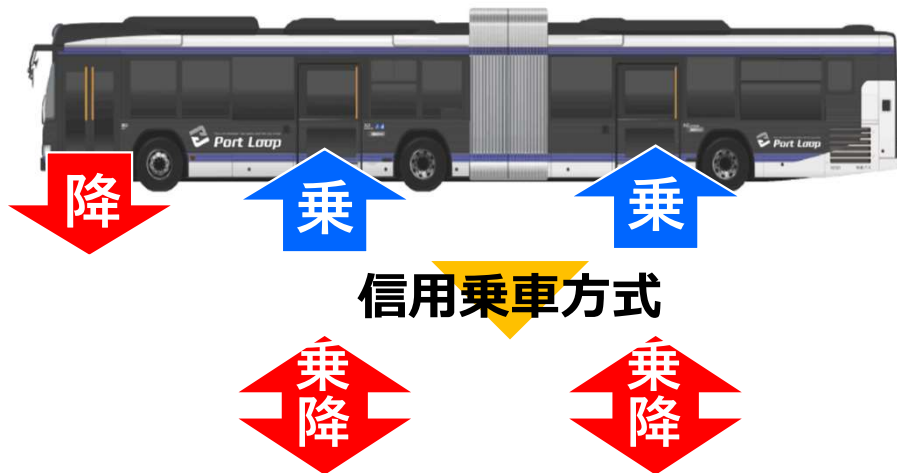
神戸駅延伸（令和6年夏頃）



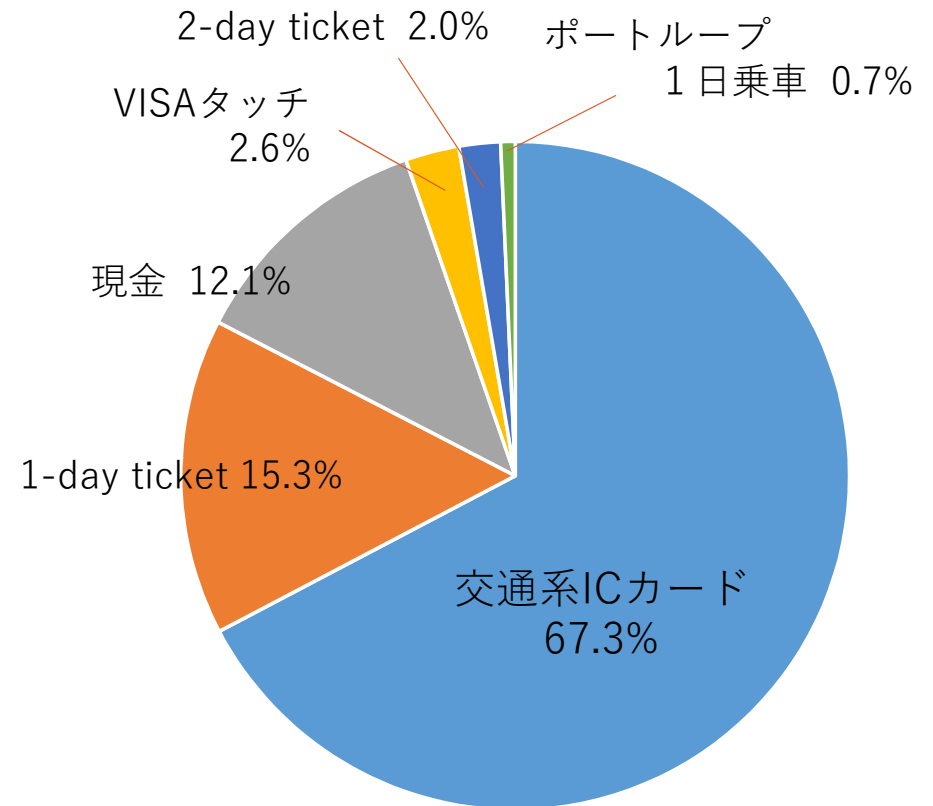
信用乗車実施に向け、ICカードリーダーの追加設置

- ・ 現在、中、後ろ扉から乗車し、前扉から降車する利用者が多いバス停では降車に時間を要している。
- ・ 今後、ルート延伸時に伴い、余裕のあるダイヤ設定が出来なくなると降車に時間を要することが遅延の原因になり得る。

中、後扉からも降車できる
信用乗車方式を検討



(参考) 支払い方法



神戸空港の国際化への対応（アクセス向上）

■新交通三宮駅のホーム拡張

- ・ホーム上の滞留空間の拡大による快適性・安全性の向上を目的として、東側へのホームの拡張や階段・エスカレーターの再配置等を実施する。

〔スケジュール〕 2024年度 着工 2027年度末 供用開始



■ポータルライナーのバスによる輸送力補完

- ・ポータルライナーの朝ラッシュ時の混雑を緩和するため、引き続き路線バスによる輸送力補完を行う。
- ・ポータルライナー定期券所有者が朝ラッシュ時の路線バスを無料で利用できる共通乗車証社会実験や、中央市民病院の利用者を対象とした病院行き路線バスの運賃無料化など、更なるバスへの利用転換促進を図る。


■南北軸のアクセス強化検討

- ・神戸空港の国際化により利用者が増加すること等を踏まえ、南北軸のアクセスのあり方を幅広く検討する。

（参考）神戸空港の発着枠の拡大・国際化

2025年 国内線の発着枠を拡大（1日最大80回 ⇒ 120回）、国際チャーター便の運用開始

2030年前後 国際定期便の運航（1日最大40回）



施策 2 西北神地域での基幹公共交通の維持

駅の再整備（神鉄、山陽沿線）

まちの魅力向上や活性化を目的に、市と鉄道事業者で締結した連携協定に基づき、地域の玄関口である鉄道駅を中心としたにぎわいのあるまちづくりの一つとして、鉄道事業者が取組む駅施設の再整備に対し補助を行う。

神戸電鉄



R5.3完了



R5.3完了

唐櫃台
R6 計画
R7 設計
R8~工事

有馬口
R7 工事

有馬温泉
R6 工事

正面玄関・コンコース整備イメージ



イメージであり、今後変更となる場合があります。



イメージであり、今後変更となる場合があります。

山陽電鉄

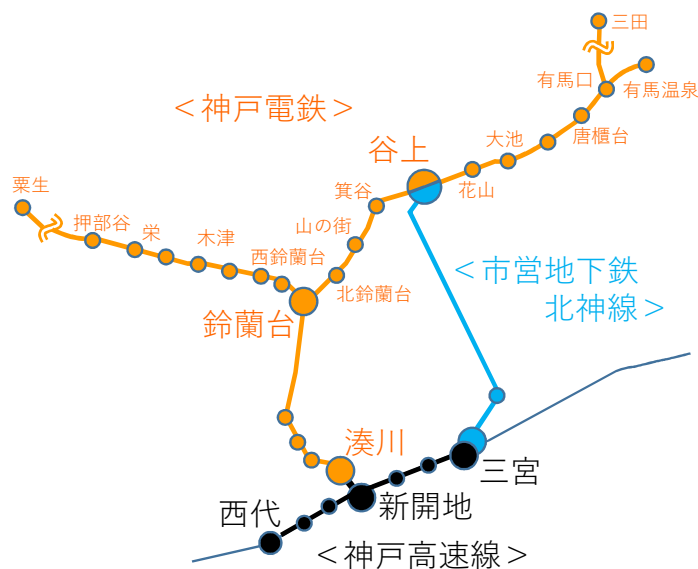
霞ヶ丘
R6 設計
R8 工事

神鉄シーパスワン


西北神地域の基幹鉄道である神戸電鉄の利用促進を目的に、平成27年度から、シニア層を対象とした、神戸電鉄全線を10日間分乗り降り自由の企画乗車券「神鉄シーパスワン」を販売

<令和6年度の取組み>

- ・ 神鉄シーパスワンplusの販売価格引下げ（6,000円→5,000円）による利用者負担の軽減
- ・ 新開地駅への臨時販売所（1か月間）の新設



企画券名	神鉄シーパスワン	神鉄シーパスワン plus	神鉄シーパスワン 北神
有効区間	神戸電鉄線全線	神戸電鉄線全線 + 神戸高速線全線 (阪神神戸三宮駅含む)	神戸電鉄線全線 + 市営地下鉄 (「谷上駅～県庁前」・ 「谷上駅～みなと元町駅」)
販売価格	1枚3,700円	1枚5,000円	1枚6,500円
販売期間	令和6年5月30日から令和7年3月31日まで		
有効期間	令和6年6月1日から令和7年5月31日まで		
販売枚数	1人合計5枚まで（1年で最大50日分） ※ 1枚で10日分乗り降り自由		
対象者	神戸市在住の70歳以上の方		
券面			



施策3 地域コミュニティ交通の維持・充実

地域コミュニティ交通での敬老・福祉バスでの割引制度導入



2024年4月より

敬老・福祉パスをお持ちの方へ

敬老・福祉パスで地域コミュニティ交通が割引*されます



名塩・生野高原ふれあいバス (北区・生野高原)

ヘルマンバス (東灘区・西岡本)

しおかぜ (豊水区・塩屋)

淡河町ゾーンバス (北区・淡河町)

ふきあい南北バス (中央区・東部)

※本事業は2024年度神戸市予算の成立を前提として実施するものです
※掲載写真は神戸市内の地域コミュニティ交通の一部です



地域コミュニティ交通では、敬老・福祉バスで運賃の支払いはできません

現金等でお支払いください

また、**利用する前に登録が必要です**
登録は一回でOK

4月までの間に！

事前に登録することができます！

2024年2月	3月	4月
事前登録受付	割引適用開始	随時登録受付

- 路線定期型は、車内の読取機で登録。2～3月中も事前に登録可能です。
- デマンド型は、3月より予約システムからご登録いただけます。

地域コミュニティ交通の運行形式によって登録の方法が異なります

<運行形式> 路線定期型


- ヘルマンバス (東灘区・西岡本)
- ふきあい南北バス (中央区・東部)
- 名塩・生野高原ふれあいバス (北区・生野高原)
- 淡河町ゾーンバス (北区・淡河町)
- さとやま (北区・青葉台・柏尾台)
- からとんくるりんバス (北区・唐櫃台)
- はまちどり (須磨区・西須磨)
- しおかぜ (豊水区・塩屋)

登録方法 地域コミュニティ交通利用時に、乗務員に「登録」と伝え、読取機に敬老・福祉バスをタッチ
※2024年3月以降に敬老・福祉バスの新規申請または再発行手続きをされた場合は登録不要です

利用方法 地域コミュニティ交通利用時に、読取機に敬老・福祉バスをタッチし、現金で運賃(優待運賃分)をお支払い
※福祉バスもタッチが必要です

<運行形式> デマンド型


予約システムはこちら



おばのやま号 すこやかバス 望海

登録方法 地域コミュニティ交通を利用する前に、予約システムの利用者登録で敬老・福祉バスの「管理番号」と「SU番号」を登録
※番号や新規アカウントの承認には一週間程度要します。承認されないまま利用されると一般料金をお支払いいただくこととなりますのでご注意ください

利用方法 予約システムで利用予約のうえ、地域コミュニティ交通利用時に敬老・福祉バスを提示し、現金で運賃(優待運賃分)をお支払い
※予約システムの更新に伴い2024年4月以降の利用予約は4月から受付開始となります



【予約システムの登録画面】

【敬老バス】

【福祉バス】

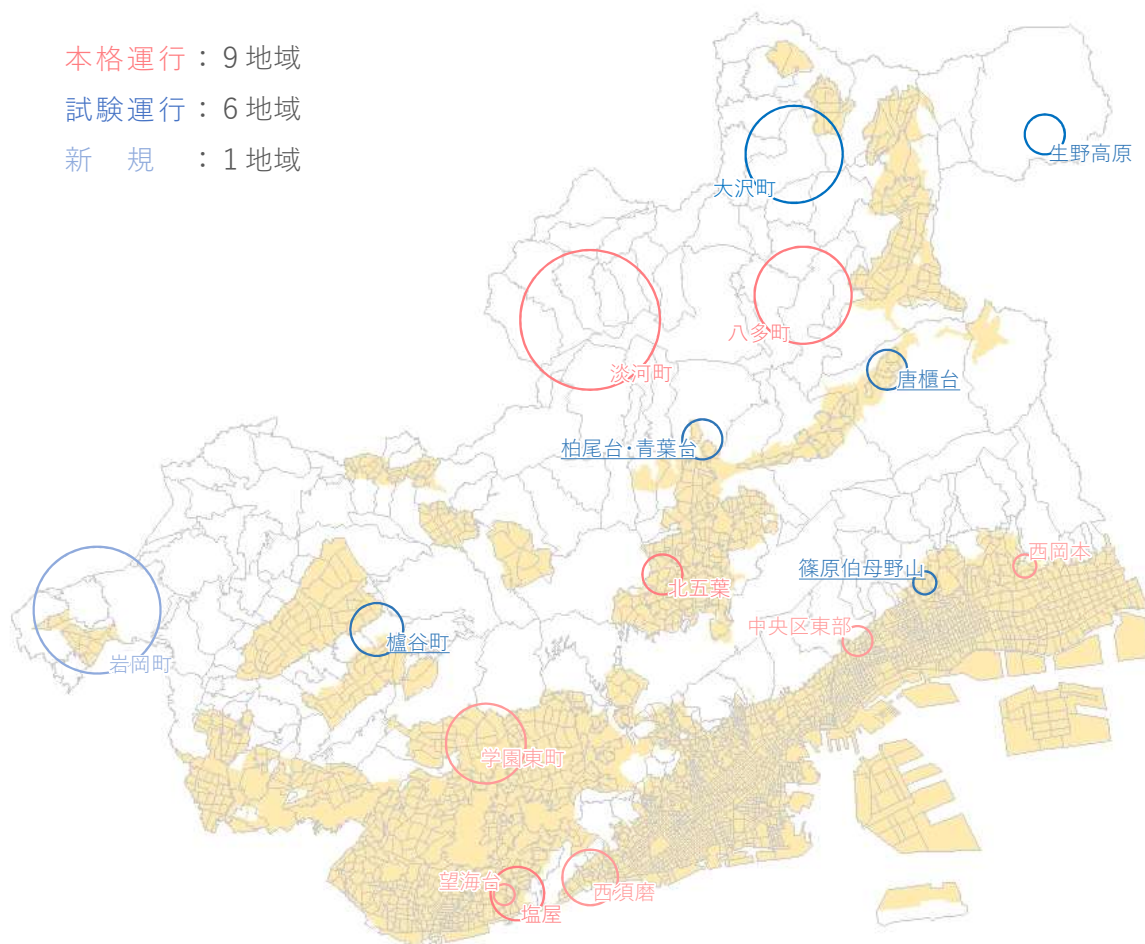
地域コミュニティ交通に関する取り組み地域一覧

※令和5年度末時点

本格運行：9地域

試験運行：6地域

新規：1地域



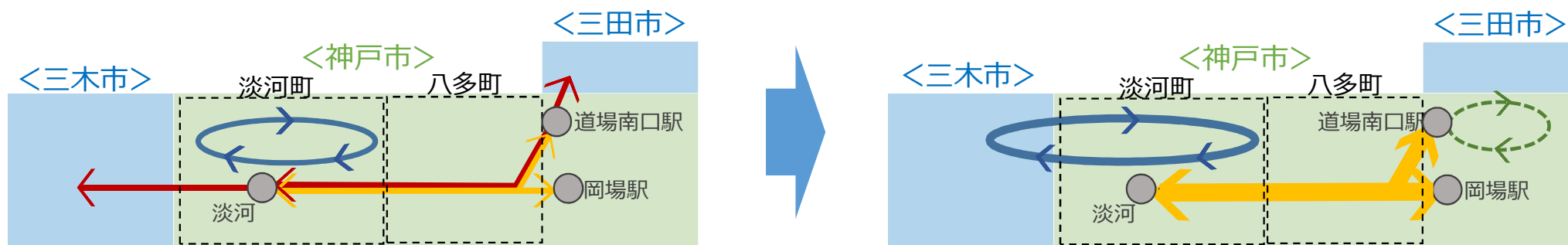
①	八多町	路線定期運行	バス車両	神姫バス(株)
②	淡河町	自家用有償	—	地域住民
③	北五葉	デマンド運行	タクシー車両	神鉄タクシー(株)
④	塩屋	路線定期運行	タクシー車両	山陽タクシー(株)
⑤	学園東町	路線定期運行	バス車両	神姫バス(株)
⑥	生野高原	路線定期運行	タクシー車両	阪急タクシー(株)
⑦	大沢町	検討中	—	地域住民
⑧	中央区東部	路線定期運行	タクシー車両	キクヤ交通(株)
⑨	西須磨	路線定期運行	タクシー車両	スターハイヤー(株)
⑩	西岡本	路線定期運行	タクシー車両	東京・日本交通(株)
⑪	望海台	デマンド運行	タクシー車両	山陽タクシー(株)
⑫	樫谷町	デマンド運行	タクシー車両	西神交通(株)
⑬	篠原伯母野山	デマンド運行	タクシー車両	東京・日本交通(株)
⑭	唐櫃台	路線定期運行	タクシー車両	神鉄タクシー(株)
⑮	柏尾台青葉台	路線定期運行	タクシー車両	神鉄タクシー(株)
⑯	岩岡町	検討中	—	—



施策 4 北神地域のバス路線の維持

需要に応じた公共交通ネットワークの形成

三木三田線等の隣接市にまたがる長大バス路線が運行する地域において、地域コミュニティ交通を導入・拡充することによって、需要に対応した公共交通ネットワークが形成できるよう、地域住民と協議を行っている。



【凡例】 — 路線バス — 地コミ (淡河町ゾーンバス) — 地コミ (八多淡河バス) - - - 地コミ (道場町で今後検討)



淡河町ゾーンバス



八多淡河バス



施策 5 観光地（六甲・摩耶山および有馬）での
公共交通の利用促進

六甲山・摩耶山での回遊性向上

六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会からの報告（R6.2.8）

回遊を促進する 交通軸の形成

神戸のステージを大きく前進させ、神戸市全体の活力を向上させるために、街や海から山へのストレスフリーなアクセスが求められる。神戸の持つ「海・まち・山が近い」という特性を十分に活かすため、神戸空港から三宮・新神戸、そこから六甲山・摩耶山、有馬温泉までを繋ぐ広域的な交通軸を形成し、回遊を促進することが重要である。2025年には神戸空港の国際化も控えており、神戸の街に訪れる人が気軽に山に登れる、海と山の両方を楽しめる、そのような魅力ある交通軸の形成が求められる。



六甲山・摩耶山での回遊性向上

六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会からの報告（R6.2.8）

交通の将来像の 実現に向けた 取組方針

六甲山・摩耶山の交通の将来像の実現にあたっては、今後想定される、運転手不足の深刻化や、新たなモビリティの技術革新、脱炭素化に向けた取組の動向等を踏まえつつ、各交通手段がそれぞれ最適な役割分担のもと一体となった取り組みを進める必要がある。

検討会では、

- ・市街地から山上へのアクセス向上
 - ・エリア特性や需要に応じた山上交通の充実
 - ・繁忙期の渋滞抑制に向けた適正な自動車利用の促進
 - ・交通と山上施設の連携による一体的なサービスの展開
- の4つの取組方針のもと、六甲山・摩耶山の交通の将来像の実現に向けた取組内容について議論を行った。

取組方針1

市街地から山上へのアクセス向上

<取組内容>

- 市街地からケーブル駅へのアクセス向上
- 都心から山上へのダイレクトなアクセス手段の整備

(左側) 船橋ロープウェイホームページ



取組方針2

エリア特性や需要に応じた
山上交通の充実

<取組内容>

- 山上における需要の動向にあわせた公共交通の再編
- 各エリアの特性に応じた新たなモビリティ等の導入



取組方針3

繁忙期の渋滞抑制に向けた
適正な自動車利用の促進

<取組内容>

- 駐車場の適正利用の促進と駐車需要への対応
- 山麓や山上でのパークアンドライド^{※1}の促進



取組方針4

交通と山上施設の連携による
一体的なサービスの展開

<取組内容>

- 交通、観光などのサービスを一体的に提供するMaaS^{※2}の推進
- 六甲山・摩耶山の活性化に向けた体制の強化



※1：郊外の自宅から最寄駅の鉄道駅・バスターミナルまで自動車を運転して、駐車場に駐車（パーク）し、そこから電車・バスなど公共交通機関を利用（ライド）する移動方式。

※2：地域住民や旅行者一人一人の移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせる検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、観光等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資するもの。

六甲山・摩耶山での回遊性向上

六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会からの報告（R6.2.8）

取組方針 1

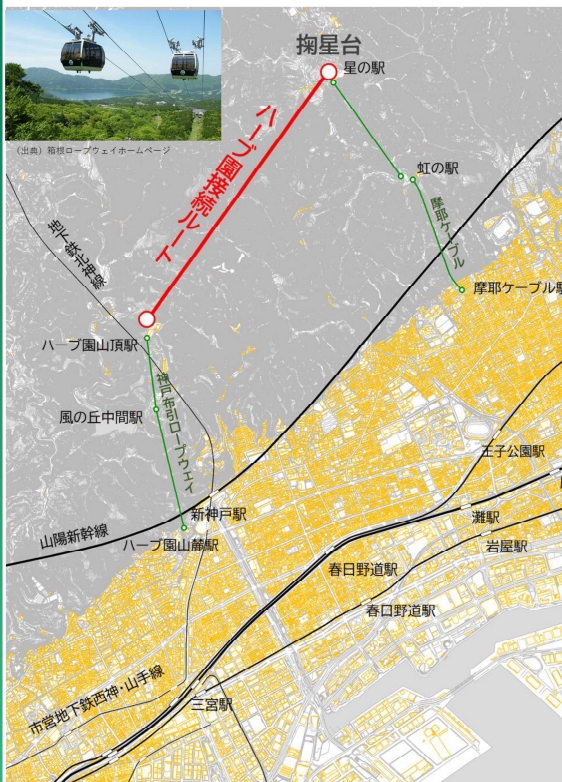
市街地から山上への
アクセス向上

中長期

新たなロープウェー
「ハーブ園接続ルート」の概要



ルート図



ルート仕様

索道方式	複式単線自動循環式（下図参照） 複数の搬器が一定間隔で循環する方式 ・山折れ・谷折れ勾配への対応が可能 ・耐風性は～25m/s
水平長 傾斜長	2,356m 2,414m
搬器定員	18人/便*
最大運行頻度	約40回/時*
最大輸送力 （片側）	約800人/時
三宮から掬星台 までの乗車時間 （乗継時間含まず）	三宮～山麓駅（鉄道）約5分 山麓駅～山頂駅（RW-RW）約20分
概算建設費	約90億円
年間経費	約2.8億円 （約3,100時間/年 ＝神戸布引ロープウェイ）

※最大運行頻度・搬器定員は神戸布引ロープウェイの輸送力（約1,000人/時）を踏まえて設定

想定需要及び事業採算性

（想定需要）

最小 20.3万人/年 ～ 最大 30.4万人/年

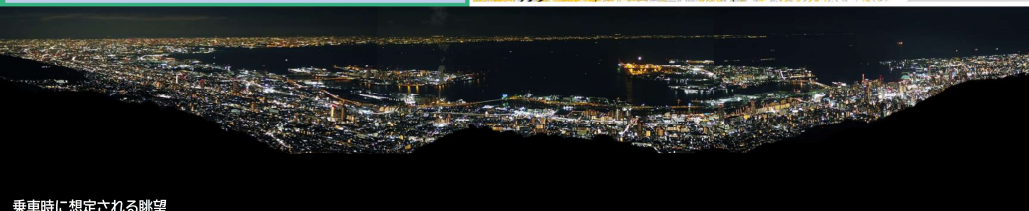
※想定需要は新ロープウェーが整備された場合の需要のみ考慮しており、摩耶山上の再整備等により更なる需要も見込まれる


（事業採算性）

試算では運行経費が運賃収入で賄える見込み

※建設費の事業者負担なし（公設民営で建設費の償還や固定資産税等は発生しない）と仮定

垂直時に想定される眺望





施策 6 公共交通の利便性向上および利用促進

MaaSの構築

令和7年の神戸空港国際化や発着枠の拡大、大阪・関西万博の開催による、観光需要の高まりを見据え、市内への観光誘客と回遊性向上のため、移動の利便性を向上させるMaaS※を実現する。

※MaaS（マース：Mobility as a Service）：
複数の交通サービスの検索・予約・決済などを一括で行うサービスであり、観光等の交通以外のサービスとの連携により、移動の利便性を向上させるもの

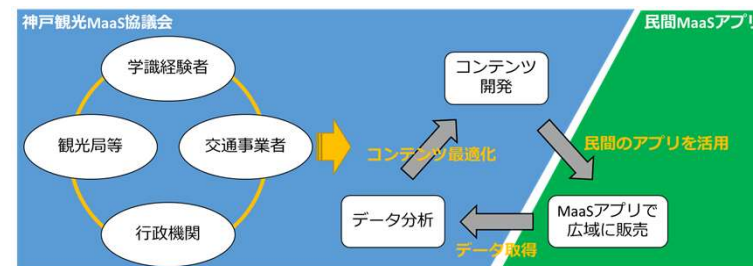
■公共交通へのキャッシュレス決済の導入支援

- ・令和6年4月11日より、全国初の取り組みとして鉄軌道、バス、ロープウェイ等の多様な交通手段で、系列の異なる複数の事業者がクレジットカード等のタッチ決済のサービスを提供開始
- ・二次元バーコードを活用した乗車券対応システムやクレジットカード等のタッチ決済の導入支援を継続



■交通と観光のサービスを一体的に提供する コンテンツの開発促進

- ・交通事業者と観光施設等の連携の場となる神戸観光MaaS協議会の開催



路線バスの利用促進

将来にわたり市内の路線バスネットワークを維持するために、路線バス全体のサービスを向上させ、バスの利用促進を図る。

■市内路線バスの運賃・サービスの統一化のためのシステム開発支援

(統一化を検討している市バスの制度)

- ・乗継割引※1
- ・定期券共通化※2
- ・共通乗車ポイントサービス※3

※1 ICカードを活用して市バスと市バスを乗り継ぐ場合に料金が割引される制度

※2 市バスの普通区間定期券を神姫バスの一部路線で利用できる制度

※3 乗車で貯めたポイントを市バスと山陽バスで共通して利用できる制度

